

シンポジウム 2

「ストレス潰瘍 2024」

司会 小池 智幸（東北大学病院消化器内科）

新崎 信一郎（兵庫医科大学医学部消化器内科学講座）

ストレスと潰瘍との関連は古くから指摘され動物実験で確認されている。さらに、実臨床においても ICU 入室時や大規模災害時の消化性潰瘍の増加が報告され、ストレスが *H. pylori* 感染や NSAIDs と独立して潰瘍を引き起こしている可能性が指摘されている。また、ストレスによる炎症性腸疾患 (IBD) の増悪も報告され、腸脳相関の観点から研究が進んでいる。本シンポジウムでは全消化管領域におけるストレスと潰瘍性病変の実態を整理し、その病態についても議論を深めたい。幅広い視点からの演題応募を期待する。